理事長選考結果の公表

会津大学理事長選考会議公表第１号
会津大学短期大学部理事長選考会議公表第１号

公立大学法人会津大学理事長の選考に関する細則第 5 条に基づき、理事長選考結果について下記のとおり公表する。

２０２６年１１月１７日

会津大学理事長選考会議議長
会津大学短期大学部理事長選考会議議長

選考結果

１　理事長予定者の氏名等
（１）氏　　名　東原　恒夫（つかはら　つねお）
（２）年　　齢　７０歳
（３）現在の職　公立大学法人会津大学理事長兼学長
２　任期
　２０２７年４月１日から２０２９年３月３１日（再任のため２年間）
３　選考理由
　両大学の理事長選考会議は、公立大学法人会津大学理事長の選考及び解任手続き等に関する規程第２条に定める「人格が高潔で、学識が優れ、かつ、大学における教育研究活動を適切かつ効率的に運営することができる能力及び法人の経営管理能力を有する者」という理事長候補者の資格を有しているかについて、推薦書、経歴書、所信表明書並びに意思確認及び意見聴取をした結果を踏まえ審議を行い、東原恒夫氏が次期理事長として適任であると決定した。
　東原氏が高く評価された主な点は、以下のとおりである。
　同氏は、理事長就任以来、公立大学法人会津大学ガバナンス・コードを策定し、倫理・コンプライアンスを遵守の上で安定的な大学の運営を行い、法人の信頼回復・健全化に寄与した。
　教育では、両大学の認証評価の認定を受け、さらに教育の内部質保証として教学マネジメントの体系的な規程整備と体制構築を行い、教育の質の向上に取り組み、研究では、個人の研究に加え、チームとしての複合領域の研究(リサーチクラスター)を軌道に乗せるとともに両大学において地域還元型の研究などを積極的に推進した。
　さらに、スーパーグローバル大学創成支援事業（SGU）の事後評価を主導し、最終評価で A 評価を獲得したほか、THE 世界大学ランキングにおいて高い評価を維持した。
　また、地域との連携強化により浜通りの復興・創生に寄与するとともに、自治体のスマートシティの推進にも貢献した。

短期大学部においては、入試制度の見直し等を総括し、また、地元に根差した人材育成を進め、高い県内就職率を維持した。

このように、率先して教育、研究、地域貢献に携わり、国際性を維持しつつ、地域に根差した大学運営を行っており、今後も安定的かつ健全な法人運営の下、社会環境の変化に適切に対応し、会津大学を着実に前進・発展させることが期待できる。

4　選考過程

２０２６年　９月１７日　両大学の理事長選考会議で日程等について決定

２０２６年１０月１４日　両大学の理事長選考会議で理事長選考手続きの公示について決定

２０２６年１０月２１日　公示

２０２６年１１月　９日～１３日　理事長候補者の推薦及び立候補受付

- 被推薦者：１人（３審議会から各々推薦あり）
- 立候補者：なし

２０２６年１１月１７日　両大学の理事長選考会議で理事長候補者及び理事長予定者について決定

5　理事長選考会議委員及び所属（◎：議長）

（1）会津大学理事長選考会議

委員名	職名等	選出機関
◎岩瀬　次郎	副理事長	経営審議会
新城　希子	識見委員	経営審議会
中田　スウラ	識見委員	経営審議会
苅間澤　勇人	学生部長	教育研究審議会
白　寅天	理事兼研究科長	教育研究審議会
ベン　アブダラ アブデラゼク	理事兼学部長	教育研究審議会

※　選出機関ごとの五十音順

（2）会津大学短期大学部理事長選考会議

委員名	職名等	選出機関
岩瀬　次郎	副理事長	経営審議会
新城　希子	識見委員	経営審議会
中田　スウラ	識見委員	経営審議会
◎柴﨑　恭秀	理事兼短期大学部長	教育研究審議会
中澤　真	産業情報学科長	教育研究審議会
若林　達司	学生部長	教育研究審議会

※　選出機関ごとの五十音順

6　その他

（1）所信表明書

（2）経歴等